

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 6 部門第 2 区分  
 【発行日】平成21年3月12日 (2009.3.12)

【公表番号】特表2009-500659(P2009-500659A)  
 【公表日】平成21年1月8日 (2009.1.8)  
 【年通号数】公開・登録公報2009-001  
 【出願番号】特願2008-519181(P2008-519181)  
 【国際特許分類】

G 1 0 L 19/00 (2006.01)

【F I】

G 1 0 L 19/00 2 1 3

G 1 0 L 19/00 3 3 0 B

G 1 0 L 19/00 4 0 0 Z

【手続補正書】  
 【提出日】平成21年1月22日 (2009.1.22)  
 【手続補正 1】  
 【補正対象書類名】特許請求の範囲  
 【補正対象項目名】全文  
 【補正方法】変更  
 【補正の内容】  
 【特許請求の範囲】  
 【請求項 1】

オーディオ信号のデコーディング方法であって、  
ダウンミックス信号及び補助信号を含むオーディオ信号と、ヘッダが前記補助信号に含まれるか否かを表すヘッダ識別情報とを受信するステップと、  
前記ヘッダ識別情報により前記ヘッダが前記補助信号に含まれる場合、前記ヘッダから構成情報を抽出するステップと、  
前記構成情報に基づいて前記オーディオ信号をデコーディングするステップと、  
を有し、  
前記構成情報は、時間整列情報と時間スロットの位置情報のうちの少なくとも一方を含み、  
前記時間整列情報は、前記ダウンミックス信号とともに前記補助信号を伝送するときの前記補助信号と前記ダウンミックス信号との間の時間遅延を表すことを特徴とするオーディオ信号のデコーディング方法。

【請求項 2】

前記補助信号は、所定の時間間隔又は空間間隔の各々に少なくとも一つのヘッダを含む請求項 1 に記載のオーディオ信号のデコーディング方法。

【請求項 3】

前記補助信号は空間情報信号を表す請求項 1 に記載のオーディオ信号のデコーディング方法。

【請求項 4】

前記空間情報に含まれたパラメータを、前記空間情報に含まれた対応する時間スロットの位置情報を利用して対応する時間スロットに適用するステップを更に有する請求項 3 に記載のオーディオ信号のデコーディング方法。

【請求項 5】

前記オーディオ信号は、前記空間情報信号が前記ダウンミックス信号に組み込まれたか否かを表す信号識別情報を含む請求項 3 に記載のオーディオ信号のデコーディング方法。

【請求項 6】

前記時間整列情報を利用して前記補助信号のフレームの開始位置を識別するステップを更に有する請求項 3 に記載のオーディオ信号のデコーディング方法。

**【請求項 7】**

オーディオ信号のデコーディング方法であって、  
ダウンミックス信号及び補助信号を含むオーディオ信号と、ヘッダが前記補助信号に含まれるか否かを表すヘッダ識別情報とを受信するステップと、

前記ヘッダ識別情報により第 1 ヘッダが前記補助信号に含まれない場合、前記第 1 ヘッダより前に伝送された第 2 ヘッダの構成情報に基づいて前記オーディオ信号をデコーディングするステップと、

を有し、

前記構成情報は、時間整列情報と時間スロットの位置情報のうちの少なくとも一方を含み、

前記時間整列情報は、前記ダウンミックス信号とともに前記補助信号を伝送するときの前記補助信号と前記ダウンミックス信号との間の時間遅延を表すことを特徴とするオーディオ信号のデコーディング方法。

**【請求項 8】**

オーディオ信号のデコーディング装置であって、  
ダウンミックス信号及び補助信号を含むオーディオ信号と、ヘッダが前記補助信号に含まれるか否かを表すヘッダ識別情報とを受信する受信部と、

前記ヘッダ識別情報により前記ヘッダが前記補助信号に含まれる場合、前記ヘッダから構成情報を抽出する抽出部と、

前記構成情報に基づいて前記オーディオ信号をデコーディングする多重チャネル生成部と、

を有し、

前記構成情報は、時間整列情報と時間スロットの位置情報のうちの少なくとも一方を含み、

前記時間整列情報は、前記ダウンミックス信号とともに前記補助信号を伝送するときの前記補助信号と前記ダウンミックス信号との間の時間遅延を表すことを特徴とするオーディオ信号のデコーディング装置。